

きょうしくに広報

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 TEL 03-5722-9300 FAX 03-5722-9332 令和5(2023)年11月15日発行

目黒区の教育は150周年を迎えます



八雲校創立始末書



区立小・中学校の校章

昭和初期の八雲尋常小学校の卒業式（写真は女子クラス）

今から150年前の明治7(1874)年1月、目黒の地に最初の学校として八雲小学校が誕生しました。江戸時代以来続いていた、庶民向けの教育施設である家塾の延長線上に、目黒の近代教育は始まりました。

明治・大正・昭和・平成そして令和という時代の中で目黒の教育は、地域そして日本の近代の中で様々な変化を遂げ、多くの困難を乗り越えて、過去の歴史の重みとともに今に続いています。

※背景の写真はイメージです。

令和5年度 めぐる歴史資料館特別展

「目黒の教育 150周年記念展 集いし学び舎 —過去から現在へ—」

問い合わせ 生涯学習課めぐる歴史資料館
☎ 03-3715-3571 FAX 03-3715-1325

目黒区の教育150周年を記念して、目黒区の教育の歩みを振り返る特別展を開催しています。皆さまが過ごした、そして過ごしている学び舎の歴史を振り返り、私たちにとって教育とは何かということを改めて考えるきっかけとなる展示の数々です。是非、めぐる歴史資料館まで足をお運びください。

会期 11月26日(日)まで ※月曜休館 時間 9:30~17:00

会場 めぐる歴史資料館(目黒区中目黒三丁目6番10号)

入場料 無料 ※詳細は、区ウェブサイト(右コード)をご覧ください。





令和5年度

全国学力・学習状況調査結果と目黒区学力調査結果をお知らせします

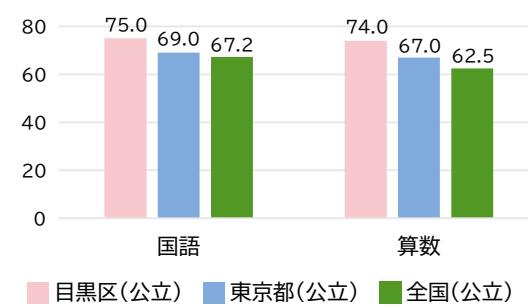
問い合わせ 教育指導課 ☎ 03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

全国 教科に関する調査結果 【調査対象】 小学校第6学年、中学校第3学年【調査日】 令和5年4月18日(火)

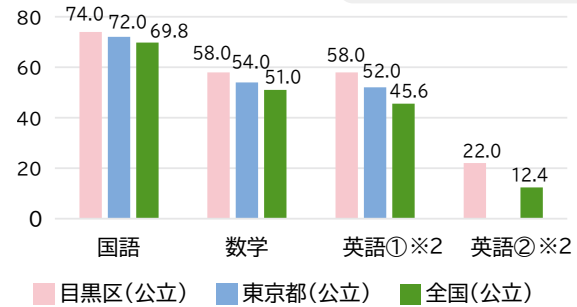
目黒区の平均正答率は、小・中学校ともに、調査した全教科において、全国平均・東京都平均を上回りました。特に算数・数学については、小学校では全国の平均正答率※1を11.5ポイント、中学校では全国の平均正答率を7.0ポイント上回っています。授業の取組が良好であると考えます。

※2 英語①は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」、英語②は「話すこと」の調査結果です。英語「話すこと」は参考値であり、東京都の結果は示されていません。

小学校の平均正答率(%)



中学校の平均正答率(%)



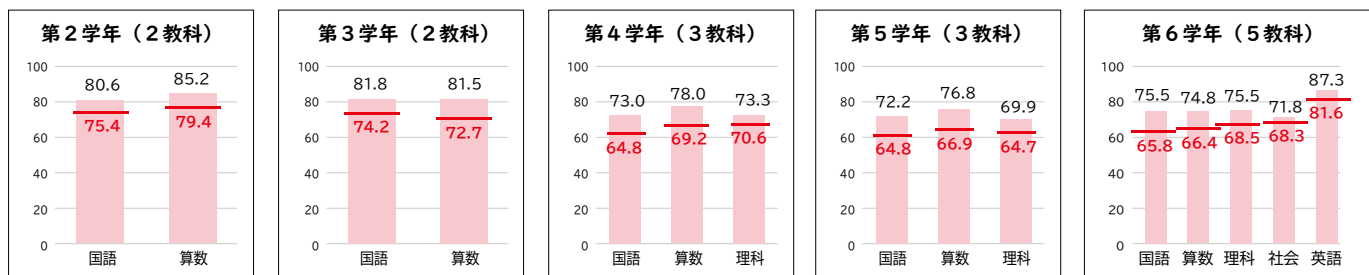
※1 平均正答率・・・国語、算数・数学、英語ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)

目黒区 教科に関する調査結果 【調査対象】 小学校第2学年から第6学年、中学校第1学年から第3学年【調査日】 令和5年4月13日(木)

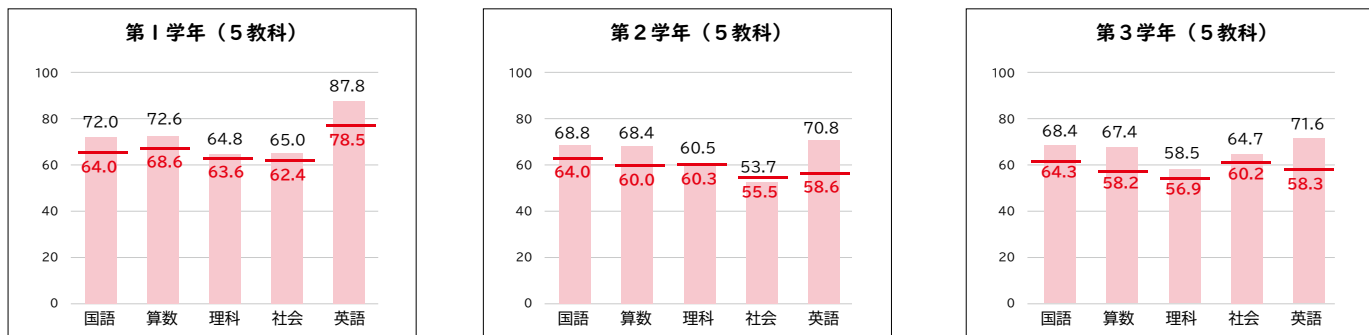
調査結果は、小・中学校ともに、全学年・全ての教科において平均正答率※3が目標値※4を上回るか同程度となっています。特に、小学校では、国語と算数において平均正答率が目標値を大きく上回っている学年が多くあります。中学校においては、全学年で英語の平均正答率が目標値を大きく上回っています。引き続き、ICTの活用も進めながら、授業の工夫・改善を図っていきます。

小学校の各教科の平均正答率(%)

赤のラインは、各学年・各教科の目標値(%)を示しています。



中学校の各教科の平均正答率(%)



※3 平均正答率・・・各設問において正答した児童・生徒の割合(正答率)を全設問で平均した割合

※4 目標値・・・学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合に、正答できることを期待した児童・生徒の割合



令和6年度から使用する小学校教科書が決まりました

問い合わせ 教育指導課 ☎ 03-5722-9312 FAX 03-3715-6951

小学校教科書は今年度が4年に一度の採択の年度になっており、8月の教育委員会で令和6年度から使用する教科書が決まりました。採択した小学校教科書は、令和6年度から令和9年度までの4年間使用します。

種目	発行者
国語	光村図書出版株式会社
国語(書写)	光村図書出版株式会社
社会	教育出版株式会社
社会(地図)	株式会社帝国書院
算数	学校図書株式会社
理科	大日本図書株式会社
生活	東京書籍株式会社
音楽	株式会社教育芸術社
図画工作	日本文教出版株式会社
家庭	開隆堂出版株式会社
体育(保健)	株式会社Gakken
外国語(英語)	東京書籍株式会社
道徳	光村図書出版株式会社



採択に当たって協議の対象となった小学校教科書の見本は閲覧することができます。

会場 めぐろ学校サポートセンター 2階 教科書センター

開館日 月～土曜日(年末年始・祝日を除く。)

開館時間 9:00～17:00



中学校におけるイングリッシュ・キャンプの様子を紹介します

問い合わせ 教育指導課 ☎ 03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

目黒区教育委員会ではこれまで、英語によるコミュニケーションに対する意欲と能力の向上及び異文化への理解を深めるため、大鳥中学校の生徒を対象として「イングリッシュ・キャンプ」を開催してきました。近年、グローバル人材の育成が強く求められており、本区においても子どもたちの英語によるコミュニケーション機会の更なる充実が必要であると考え、令和6年度からは、全区立中学校の生徒を対象として、希望者がイングリッシュ・キャンプに参加できるよう、事業の拡大に向けて取り組んでいきます。

令和5年度は、大鳥中学校以外の区立中学校8校でも第2学年の希望者を対象にしたキャンプを8月21日から2泊3日、山梨県にある研修施設において試行的に実施しましたので、その様子を紹介いたします。



▲3日間集中して英語によるコミュニケーション活動を行い、英語を使おうとする意欲が高まりました。



▲生徒10名以内の小規模クラスでレッスンを行ったため、一人ひとりの生徒が外国人指導員と英語によるコミュニケーションの機会を多く持つことができ、丁寧な指導を受けることができました。



▲「英語が苦手で、少しでも能力を伸ばしたくて参加した」と話していた生徒もゲームやアクティビティを通して、楽しみながら学ぶことができました。



各学校の特色ある教育 ～40分授業午前5時間制～

問い合わせ 教育指導課 ☎ 03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

文部科学省から研究開発の指定を受けた目黒区立小学校17校は、「40分授業午前5時間制」の教育課程のあり方について、5年間にわたって研究開発を進めてきました。

目黒区の小学校が、一丸となって研究を重ね、去る11月1日・2日に研究発表会を開催し、成果を全国に発信しました。参観者からの質問とそれに対する回答の一部を紹介します。

なお、令和8年度を目途に、目黒区立の全小学校で40分授業午前5時間制を実施する予定です。

Q 40分授業午前5時間制で、授業時間が5分短くなりますが、学力は維持できますか？

A 生み出した時間を生かして、学力のさらなる向上を目指しています。

40分授業午前5時間制により、下校時刻が早まりますので、教員は次の日の授業の教材づくりに時間をかけることができます。教員がチームを組み、より分かりやすい授業を展開していきます。

烏森小

各教科等の授業にICTを用い、調べ学習、体験学習、話し合い活動が効果的にできるよう工夫しています。互いに学び合う協働的な学習の力が高まっています。



中目黒小

各教科等の指導では一部、児童が自分で学習の計画を立てて学ぶ「マイプラン学習（単元内自由進度学習）」を取り入れています。自分で学習計画を立てるので、学習意欲や自己調整力が育っています。



向原小

算数科、理科に予習型授業を取り入れています。家庭学習などでの予習により、あらかじめ考えをもって授業を受けるため、主体的・対話的で深い学びがより充実し、学力の向上につながっています。

Q 生み出した時間を使って、どのような教育活動を行っていますか？

A 各学校が、学校の特色を生かし工夫した教育活動を実施しています。

教職員が一丸となって特色ある教育活動の工夫・改善に取り組んでいます。その中で各校とも、児童が自分の課題に即して自分なりの学習を自分の判断で行う活動に力を入れています。

駒場小

一週間の学習内容を、児童が自分で決める「プランニングの時間（プランニングタイム）」が月曜日にあります。自分で学習内容をプランニングすることによって、受け身ではなく見通しをもって学ぶことができ、より主体的に学習や活動に取り組むことができます。

また、自分で決めた課題を探究していく学習時間（こま研）では、探究・協働の楽しさを味わい、体験する活動を通して主体的に学ぶ児童を育てています。

油面小

「関わりを深める時間」を昼の学校裁量の時間（20分間）に設定しました。年間4～5回、児童が主体的に講座を選択し、学年、性別、障害の有無に関わらず、同じことに興味がある仲間と活動する時間（アブラカタブラ教室）を設定しています。学年を越えた人との関わりによって学校生活がより豊かになっています。



区立学校・園における働き方改革を推進しています

問い合わせ 教育政策課 ☎ 03-5722-9432 FAX 03-5722-9332

目黒区教育委員会は、教職員が子どもたちと向き合う時間を創出するため、教職員の心身の健康、誇りとやりがいをもち勤務できる環境を確保することを目的に、区立学校・園における働き方改革を推進しています。

本年度、業務改善モデル校として4校を指定し、試行的な取組・検証を行い、効果的な取組については、全区立学校・園に広めていきます。

業務改善モデル校の具体的取組

■田道小学校

保護者連絡システムの活用

これまで欠席や遅刻等の連絡は、登校前までに保護者が連絡帳ノートに記入し、学校に届けていましたが、保護者連絡システムの利用が定着し、手持ちのスマートフォン等から学校に連絡することで、保護者・学校双方の負担が減っています。また、学校からのおたより等も保護者連絡システムでの配信により、確実に届くようにしています。



■第十中学校

デジタルドリルの活用(紙ドリル購入の見直し)

授業でデジタルドリルを使用しています。生徒は、自身の学習履歴を参照し、課題を自分で選択して学習を進めることができるようになりました。また、教員もドリルを回収することなく、生徒一人ひとりの課題の取組状況を確認することができるようになっています。



各種おたよりの配布方法の工夫

校内では、ペーパーレス化も推進しています。学校だよりや給食だより、保健だより、学年だより、学級だよりなど保護者連絡システムを活用して、各家庭に確実に配信しています。

■緑ヶ丘小学校

業務改善に取り組む意識の向上

2か月に一度、教職員に「業務改善が進んでいるか」「休憩が取れたか」等のアンケートを実施し、教職員に結果をフィードバックすることにより、業務改善に取り組む意識を高めています。

さらに、講師を招き、全教職員で業務改善に関する校内研修を実施しています。講師からは、学校が一丸となって働き方改革を進めるには、共通の目的や目標を持つこと、人や資源の活用、時間の確保が大切である等の指導を受け、さらなる業務改善に取り組んでいます。



■目黒中央中学校

自動採点システムの導入

自動採点システムにより採点業務の効率化を図っています。テストが自動採点された時点で、生徒全員の観点別の得点がパソコン上に集計されるため、採点、記録、分析の時間が、1～3時間短縮されます。生み出された時間は、採点結果のデータに基づいた生徒の学習指導の準備等に充てることができています。



教職員の在宅勤務の試行実施

夏季休業期間中にオンデマンドでの研修受講や授業準備を行うなど、教職員の在宅勤務を試行実施し、本格導入に向けた課題の整理を行っています。



統合新校2校の校名を選定しました

問い合わせ 学校統合推進課 ☎ 03-5722-9301 FAX 03-5722-9332

令和7年4月に開校する「第七中学校と第九中学校」、「第八中学校と第十一中学校」の統合による新設中学校の校名を公募したところ、多くの方々から校名案が寄せられました。

目黒区教育委員会では、統合新校推進協議会における協議を経て、新校としてふさわしく、また、校区の児童・生徒、保護者及び地域が、将来にわたって親しみや愛着を持てるものかなどの視点で選定を行い、次のとおり新校の校名を選定しました。

第七中学校と第九中学校の統合による新校

めぐろみなみ

校名 **目黒南中学校**

選定理由

- ・統合により広域化する新校の通学区域は、区の南部地区に位置し、その地域をよく表している、区民にとってわかりやすい校名であること。
- ・第七中学校と第九中学校の両方の地域に一定の理解を得られる校名であること。
- ・統合新校推進協議会委員の投票において、最も多くの支持を得たこと。

第八中学校と第十一中学校の統合による新校

めぐろにし

校名 **目黒西中学校**

選定理由

- ・統合により広域化する新校の通学区域の多くは、区の西部地区に位置し、その地域をよく表している、区民にとってわかりやすい校名であること。
- ・第八中学校と第十一中学校の両方の地域に一定の理解を得られる校名であること。
- ・統合新校推進協議会委員の投票において、多くの支持を得たこと。

令和5年第4回区議会定例会(11月21日から開会予定)に提出を予定している「目黒区立学校設置条例」を改正する議案の議決により、新校の校名は正式に決定します。

※公募結果及び選定結果の詳細は、区ウェブサイト(右コード)をご覧ください。



開校に向けた取組

交流活動 新校の開校までの円滑な移行に向けた取組として、両校の生徒間の交流活動を行っています。

第七中学校と第九中学校の交流 (合同校外学習)



協力しながらカレー作り 一緒にアスレチックに挑戦

第八中学校と第十一中学校の交流 (八ヶ岳自然宿泊体験教室)



合同でのレクリエーション 混合班での飯ごう炊さん

生徒・児童参加による学校づくり 新校の校章・校旗、校歌や標準服等について、教員、生徒、保護者等で構成する各検討部会において具体的な検討を進めています。検討に当たっては、統合対象校の生徒や統合対象校の通学区域の小学校の児童がアイデア出しやワークショップに参加するなど、生徒・児童の参加による取組を進めています。

取組状況は、随時お知らせしていきます。

検討内容	取組内容(令和5年度の予定)
校章・校旗	○デザイン等アンケートの実施(統合対象校生徒) ○図案募集、専門家によるデザイン教室の実施(統合対象校生徒) ○児童・生徒投票(統合対象校生徒、児童)
校歌	○歌詞のフレーズ募集の実施(統合対象校生徒、児童) ○専門家による校歌制作ワークショップ(統合対象校生徒)
標準服	○デザイン等アンケートの実施(統合対象校生徒、5・6年児童)
校則	○外部人材を活用した生徒参加による校則見直し・新校の校則検討(統合対象校生徒)



生徒参加による標準服等の検討



目黒区立中学校統合新校の新校舎整備に向けて基本構想の策定作業を進めています

問い合わせ 学校施設計画課 ☎ 03-5722-9307 FAX 03-5722-9333

目黒区教育委員会では、現在の第九中学校と第十一中学校の場所に建設する統合新校の新校舎の基本構想の策定に向け検討を進めています。基本構想の策定に当たっては、素案を作成し、保護者や地域の方向けの説明会を12月に開催します。説明会でいただいた意見などを踏まえながら、令和6年1月頃を目途に基本構想をまとめていきます。

今後のスケジュール

日程	今後の予定
令和5年12月	基本構想素案の説明会
令和6年1月	基本構想の策定
令和6年4月以降	基本設計・実施設計

※日程は、変更になることがあります。



向原小学校の建て替えを進めています

問い合わせ 学校施設計画課 ☎ 03-5722-9307 FAX 03-5722-9333

目黒区学校施設更新計画(令和3年3月策定)に基づく更新の1校目として、令和4年度から向原小学校の建て替えに取り組んでおり、保護者や地域の方からご意見をいただきながら、令和5年6月に向原小学校等複合施設基本設計を決定し、引き続き新校舎建築を施工するための実施設計の策定を進めています。

改築に向けて段階的に工事を進めており、令和5年5月に敷地の地耐力を確認するための地盤調査、8月からプールの解体工事を行い、10月に完了したところです。また、ビオトープの撤去も行いましたが、様々な植物は新校舎に整備されるビオトープへ引き継ぐためにプランターへ移植して育てています。

今後はプールと校庭部分に仮設校舎(鉄骨造、地上3階建て)を建設するための工事を令和5年12月から令和6年7月にかけて行い、令和6年9月から仮設校舎での授業を行う予定です。



プール解体工事は10月に完了



ビオトープの植物をプランターへ移植する子どもたち

※向原小学校の建て替えについての詳細は、区ウェブサイト(右コード)をご覧ください。





寄付金のお願い

※各寄付金のお申し込み方法については、
区ウェブサイト(右コード)をご覧ください。



目黒区教育委員会では、学校施設や備品、区立図書館の図書資料の充実のための寄付を受け付けています。いただいた寄付金は、未来の目黒区の教育のために大切にに使わせていただきます。



学校の環境整備のために！

老朽化した学校の建て替えには30年間で1,700億円(令和3年度試算)を超える経費が必要と見込まれます(令和5年8月時点での基金の積立残高は193億1,300万円余)。

未来を支える子どもたちの教育環境の整備にご支援をお願いします！

問い合わせ

学校施設計画課

☎ 03-5722-9307

FAX 03-5722-9333



学校備品等を充実させたい！

目黒で学ぶ子どもたちのために、快適な学校環境の整備を進めています。令和5年度は、寄付金を活用して、きこえとことばの教室指導用機材(補聴機器等)などの購入を新たに予定しています。

皆様からいただいたご寄付によって、学校備品や学校図書館の充実が図られます！

問い合わせ

学校運営課

☎ 03-5722-9304

FAX 03-5722-9333



図書館資料をより豊かに！

様々なジャンルの図書に親しむことを通して、人生はより豊かなものとなります。令和4年度は寄付金を活用して、児童書と子育て支援に関連する本を購入しました。

子どもたちの心を育てる読書活動及び区民の皆様の生涯学習の推進に向けて、より豊かな図書館資料を備えるためにご協力ください！

問い合わせ

八雲中央図書館

☎ 03-5701-2795

FAX 03-5701-2794



ひとりで悩まず相談してみませんか

◆めぐろ学校サポートセンターでの教育相談

めぐろ学校サポートセンターでは、幼児・児童・生徒の心身の健全な発達を支援するため、発達、学業、進路、不登校、人間関係など、教育上の諸課題について教育相談員(心理の専門職員)が相談を行っています。

◇来室相談(事前予約制)◇

めぐろ学校サポートセンターで専門的な立場から相談を行います。

☎ 03-3712-4601

月～土曜日の10:00～17:00

※祝日・年末年始を除く。

◇電話相談◇

電話による相談もできます。匿名での相談も可能です。

☎ 03-3710-6770

月～金曜日の10:00～17:00

※祝日・年末年始を除く。

◆学校・園でのスクールカウンセラーによる教育相談

目黒区では、スクールカウンセラーを区立幼稚園・こども園、区立小・中学校に派遣し、相談活動を行っています。相談をご希望の場合には、それぞれの学校・園にお問い合わせください。



教育施策に関する説明動画を配信します

目黒区教育委員会の主な取組について、区民の皆様のご理解とご協力をいただけるよう、教育施策に関する説明動画を配信します。詳細は区ウェブサイト、保護者連絡システム等によりお知らせします。

説明動画

【配信方法】「目黒区公式 YouTube チャンネル めぐろTV」上で配信します。

【配信日】11月20日(月)から

【内容】教育委員会の主な取組など

※詳細は、区ウェブサイト(右コード)をご覧ください。

問い合わせ

教育政策課 ☎ 03-5722-9432 FAX 03-5722-9332

